



今月の話題：中国旅行から帰って来たばかりであるが、今回はこの数年来の変貌に驚かされた。地方都市にも林立する高層住宅群、高速道路、地下鉄は都市の様相を一変させているし、絶えず清掃人がいて道路にごみが落ちていない。大量の車は新しい車だし、バイクはすべて電動で音もなく走っている。雲霞の如く居た自転車はあまり見かけず、すべて貸自転車で乗り捨て自由、スマホで手続きする。このような事例は枚挙にいとまがないが、この一挙に進む驚異的な転換に政治の力を強く感じ、我が国の立ち遅れを懸念した。(伊藤誠三)

□ 本部便り：(金森捷三郎 記)

・次回、平成 29 年第 5 回拡大理事会は 12 月 14 日 (木) 16:00~18:00 場所は、東大松村研究室の予定。

なお、同日 18:30 から恒例の忘年会。

・来年度総会は、2018 年 2 月 23 日 (金) 15:00 から 場所は、本郷のフォレスト本郷ホテルの予定。

○次回拡大理事会：12 月 14 日 (火) 18:00~

□ 建築部会：(岡本 直 記)

・9 月 20 日開催の部会報告事項は以下の通りです。

(1) 国交省の平成 29 年度住宅市場整備推進等事業費補助金制度 (海外・費用の 1/2 補助) に昨年度に続き、「モンゴルにおける既存集合住宅耐震診断・耐震補強、断熱性能向上事業計画」が採択された。9 月 3, 4 日にウランバートル市のモンゴル国立科学技術大学においてワークショップを含むシンポジウムを開催し、サーツ及び担当研究の支援企業 7 社のメンバー及びモンゴル関係者間の密な情報交流を行った。シンポジウムを介し、WPC の耐震性に関する診断解析や改修の方法におけるモンゴルの状況に即した考え方への整備等について、両国の協力体制の一層の充実が図れるようになった。なお、28 年度の調査内容は、サーツ寺子屋、平成 29 年度第 4 回としてその証紙を報告した。詳細はサーツ誌 74 号参照。

(2) 東京都マンション耐震セミナーを 9/9 (土) に開催。今年は新しい試みとして、実際に耐震改修を経験したマンションの管理組合理事長に経験談をお話し頂いた。個別相談のコーナーも例年通り開設し、今年の参加者は約 220 人と昨年までの参加者数を上回る盛況となった。(準備、運営担当 安部、丸山、山中、岡本)

・その他の話題：(1) 耐震診断の最近の進捗状況は、2 件の耐震診断が完了した。現在、補強設計の段階に進むべく調整しています。また、部会内に耐震 SWG を立ち上げ、更にサーツ HP で都内マンションの耐震診断実施に伴う診断者の公募を行っています。(泉、岡本)

(2) 8/31 付け朝日新聞夕刊に富士山頂での測候所を活用した長年の観測の貴重な取組みの状況が報告されている。この測候所の建設 (1964 年) に当時の研究者であった鶴田裕さんが協力されていて、建設に伴うその時代の極寒冷地における建築材料の選定等、非常に貴重なご経験やご苦労をお伺いしました。

○次回建築部会 10 月 18 日 (水) 17:30~19:00

□ 戸建住宅部会：(阿部市郎 記)

・今年の夏は酷暑天候不順の中をタウンハウス団地大規模修繕監理や CLT 関連実験等に部会の皆様にご協力を頂きましたが、ようやく秋風が吹く季節を迎えました。

部会への皆様の参加をお待ちしています。

○次回部会予定：10 月 5 日 (木) 18:00~

ショートスピーチ：大場明夫氏「間の伝達？」

□ 集合住宅部会：(小畑晴治 記)

・昨年に引き続き、第 2 稲毛ハイツの団地再生の勉強会の第二段階が、(社) マンション再生なびとの連携で実施することで動き始めました。本年度はサーツが主要部分についての具体案を提案することになりました。

・建築技術教育普及センターの「再生団地における子育て世帯ニーズ」の調査研究は、9 月 26 日に湘南長沢グリーンハイツでのヒアリング (東京工芸大 森田芳朗准教授も参加) を行いスタート。管理組合隣接の幼稚園へのお迎えに来る主婦たち 4 名を集めてくれました。

この団地は、管理組合活動・自治会活動がとても熱心で、『オヤジの会』や『助け合いの会』などに多くの方が参加していて、集まった若い主婦たちは、高齢の住民グループとのコンタクトがあれば参加したいとの意見を持っていました。またゆったり配置され道路も広い団地空間は、人の関係を穏やかなものにしていてということで、子育て環境としての満足度が高い状況を感じました。

○次回部会予定：10 月 31 日 (火) 18:00~

□ マンション管理組合支援事業部：(丸山和郎 記)

・9 月度進展状況：1) 今期受託契約済 9 件 (既報の通り)。

2) 上半期の引合情報：7 件中 (①中野区、建物診断・耐震診断 ②豊島区駒込、賃貸 M、建物調査~改修設計、③草加市谷塚、長期修繕計画・個別顧問、④文京区本駒込、長期修繕計画) は先月に同じく動きがないため、不調扱いとする。⑤上記柏市の隣接物件 (診断調査)、は対応継続。⑥大和市 (補助金付き耐震診断) および⑦江東区東陽町 (防火設備定期調査報告業務) は来年に延期。3) 9 月度引合案件①市川市 (屋外改修工事の監理業務) ②八王子市 (特建・設備定期調査報告) ③品川区南大井 (管理会社作成の長計案に対する校閲業務)

・9 月 9 日「都、耐震セミナー」個別相談会に應對し 15 組の相談を受けた。

・9 月度マンション部会 (9 月 19 日)：定例議題のほか、「サーツパンフ改訂案」の内容の検討・意見交換を行いました。次回の企画 WG 会議に上程します。

○次回部会予定：10 月 31 日 (火) 16:00~

□ 建築技術誌 10 月号 (9 月 17 日発売) サーツ欄掲載

・岡野泰三：私の造園と建築との関わり合い

・小藤捷吾：「ツーバイフォー工法タウンハウスの大規模修繕工事見学会」

□ 余滴：雲南の遺跡を巡る秋日和 まこと